

## 松和物産(株)杯

### 第15回 鹿児島県ビーチバレーボール中学生男女選手権（4人制）大会 兼 第17回 JVA全国中学生ビーチバレーボールU15選手権大会4人制県予選会

標記大会は、第17回全国中学生ビーチバレーボール4人制中学選手権大会の県予選であるので、全国中学生大会のルールに準じて実施するため、下記を理解して大会に臨むこと。

#### 【競技・審判上の注意】

大会競技委員長

大会審判委員長

- 1 本大会は2026年度 公益財団法人 日本バレーボール協会ビーチバレーボール4人制競技規則及び全国中学生大会のルールに準じて実施する。
- 2 ネットの高さは、男子：2m30cm，女子：2m15cmとする。コートは16m×8m。
- 3 28点先取，1セットマッチ，デュースあり（30点打ち切り）とする。（今大会の点数については参加チーム数次第とする）
- 4 チームは統一された服装で参加すること。
- 5 ボールをプレーする動作中やプレーを阻止しようとする際に，ネットに触れた場合は，タッチネットの反則となる。
- 6 次のように，アタックヒットが完了したときは反則となる。
  - (1) 相手チームの空間にあるボールをヒットしたとき。
  - (2) 指を開いたティッププレーや，指を用いてティッププレーをする際に固定し合わせずに，アタックヒットを完了したとき。
  - (3) 相手のサービスしたボールをボールがネットより完全に高いところにあるときに，アタックヒットを完了したとき。
  - (4) オーバーハンドパスで，両肩に対して直角でない方向にアタックヒットを完了したとき。ただし，自チームの選手へボールをセットアップした場合は例外とする。オーバーハンドパスで，自チームヘトスを上げたボールが風で流されて相手コートに入った場合は，アタックヒットの反則としない。
- 7 チームにおける第1回目のプレーでは，それがオーバーハンドで指を用いたプレーであっても（強打されたボールでなくても），ボールが身体の2ヶ所以上に連続して当たっても，1つの動作中のものであれば許される。

- 8 ブロックへの接触は、チーム1回目のプレーとして数えられず、その後さらに3回のプレーができる。
- 9 ブロックのとき、ボールが1人あるいはそれ以上のブロッカーに連続（素早く連続的に）して触れても、それが1つの動作であれば許される。その後さらに3回のプレーができる。
- 10 サービス順は、コイントスの後に監督またはチームキャプテンによって通告されたサービス順を守る。レフェリーのサービス許可の吹笛後5秒以内にサーブを完了しなければならない。
- 11 監督またはゲームキャプテンが、競技中断（タイムアウト・競技者交代）の要求をする場合は、はっきりとしたハンドシグナルで申し出ること。
- 12 タイムアウトは1セットにつき1回とし、両チームの合計が28点になったときはテクニカルタイムアウトとする。
- 13 チームは1セットにつき最大4回の選手交代が認められる。一度に複数の選手交代ができる。  
選手が負傷／病気となった場合、正規の選手交代をする。しかし、それができないときは例外的にどの交代選手とも交代することができる。
- 14 両チームの合計が7の倍数ごとにコートスイッチを行う。
- 15 コート上の選手が負傷及びその他の理由によって3人以下になった場合は、没収試合となる。
- 16 審判は割り当てられたチームの選手で行うこと。
- 17 試合間については、前の試合終了10分後、連続試合になる場合は15分後、または設定時刻を設けて行う。

○中学校6人制(インドア)ルールとの相違点○

- \* コートの広さは16m×8mの長方形（片方のコートが8m×8m）【2】
  - \* 指の腹を使ってのプッシュやフェイントは反則【6(2)】
  - \* 相手コートにオーバーハンドパスで返球するとき、肩に対して垂直方向の、まっすぐ前か、まっすぐ後ろにしか返すことができない。【6(4)】
  - \* サーブは5秒以内に打たなければならない。【10】
  - \* 要求できるタイムアウトは1回のみ。【12】
  - \* メンバーチェンジは4回まで【13】
  - \* 点数の合計が7の倍数でコートを入れかわる（コートスイッチ）【14】
- ※ 【 】内の数字は「競技・審判上の注意」の番号を表しています。